

兵庫発 会員制サイト人気

開設2カ月半で1000人突破

インターネットのサイト上で経歴などを公開しながら情報交換や交流をするソーシャル・ネットワーキング・サイト(SNS)。県や市、区など、自治体単位とした地域SNSが全国各地で増えている。兵庫県内ではこのほど、企業や県、研究者らが、地域活動を支援するSNS「ひよこむ」を開設した。信頼性を重視し、完全招待制で実名登録が必要と、敷居は高いが、開設から二カ月半で会員千人を突破。まちづくりの議論や防犯情報など、密度の濃いやりとりが繰り広げられている。(広岡磨璃)

■ひよこむ■

主宰者は、姫路市在住のインターネットプロバイダー会社社長、和崎宏さん(47)。

これまで行政などとともに、地域の情報化に取り組んできた和崎さんは、県立大大学院でもSNSを研究。人と人をつなぎ、関係を強めるSNSの特長が、地域に眼を「地域力」を自覚めさせるきっかけになるのではと着目し、今年四月ごろから準備。九月に百二人で仮オープンした。

現在、地域SNSは全国に約八十あり、最も規模が大きいのは三千人余



防犯など地域情報交換

りの会員がいる福岡県の「VARRY」(ベイリ)」。県内では神戸の「シヨルベ」(約千八百人)がある。ひよこむの会員数は、増加のペースも速く、年明けには二人に達すると和崎さんは予測するが、「規模の小よりも、個人間の「紐帯」を太くする特性に意義がある」と話す。

現在、県民は会員の八割強。会員は、地域の安全・安心情報やグルメなど興味がある「コミュニティ」に属し、情報交換、交流を深める。交流を通じて、新たな地域活動も生まれている。

県が小学校区単位のコミュニティ活動に助成する「県民交流広場」事業とも連携。県の牧慎太郎・政策局長は「人間関係の豊かな地域社会は、犯罪も起こりにくく、暮らしやすい。『ひよこむ』は地域活性化の一助になるはず」と期待を寄せる。アドレスは<http://http://h.yocom.jp>

トップページでは、人や地域活動の動向が一覧できる「ひよこむ」

SNS県内版「ひよこむ」

会員1か月半で1000人超

インターネット上で氏名や経歴などを公開し、情報交換する会員制ソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)の一つで、県内情報を集めた「ひよこむ」が好評だ。登録会員だけしかサイトを「見られない」という安心感もあり、気軽に書き込め、本格稼働から約1か月半で会員は1000人を超えた。趣味や子育てのことなど、様々な人ネット共同体が生まれ、参加者が増えている。

「ひよこむ」は地域活動 ミーム(姫路市)が開発。の支援に向けて開設された。学校の同窓生探しや隠れた SNSで、インターネット 名店情報、安全・安心情報、プロバイダ会社「インフォ ボランティア情報などのテ

広がる「ネット共同体」

地域活性化に展開期待

「ひよこむ」と「コミュニティ」をつなぐ。10月から稼働を設け、興味を持った会員が自由に書き込んで意見を交換する。社長の和崎宏さん(48)は「本来、地域にある問題解決力や人とのつながりが薄れてきた今、SNSが人の輪をつくるのに役立つと思

「ひよこむ」のサイトを毎日チェックするという神戸市の女性会員は「友達も増え、実名がわかるので不安も少ない。ネットワークを活用して、仕事の幅も広がった」と話す。和崎さんは「SNSはあくまでも、直接会えない人と人の「すき間」を埋める手段。これからは、広がりつつあるネットワークを地域活性化に生かす方向へ展開できれば」と期待している。

逃れ防止 必修再発

授業計画提出要求へ

県教委検討 保護者らへの公開も

必修逃れ問題を受け、県教委は17日、再発防止策の一環として県立高校に対して授業計画(シラバス)の提出や、保護者らへの公開などを求めること

必修逃れ問題を受け、県教委は17日、再発防止策の一環として県立高校に対して授業計画(シラバス)の提出や、保護者らへの公開などを求めること

3年生771人のうちほとんどが日本史や情報も未履修で、県播磨(姫路市)でも3年生30人に保健の履修漏れがあったことがわかった。



真野小児童へのお礼のメッセージを読む子どもたち(アルジェリア・ブームルデス中央小で、国際協力銀行提供)

食育フェ

きょう

バランスの
などで発育や
促す「食育」
た国内最大
「コープたべ
フェスティバ
(日本生活協
主催)が18、
・ポトアイ
国際展示場
料。

食育に取

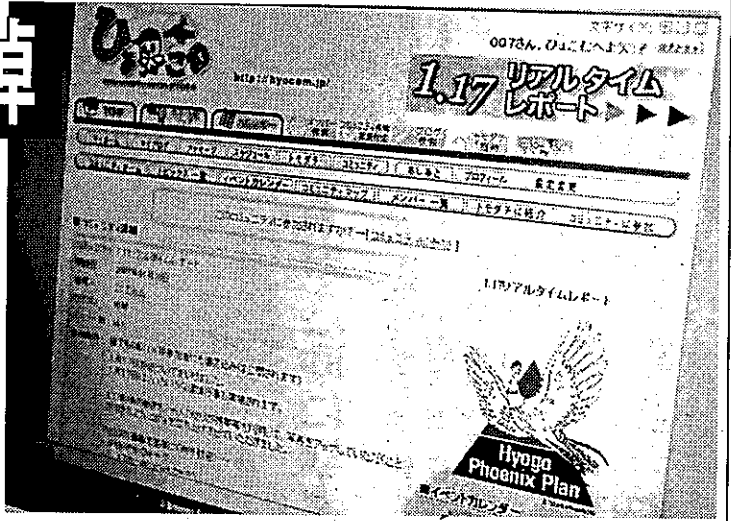
企業、全国の
8団体が参加
クイズやゲー
ランスチェ
か、豆腐や
る体験コー
各生協が扱
オリジナル
り、訪れる人
イバッグの
けている。

両日とも

上映時間
NEW NEW
トワ
デザ

SNSで震災追悼

県職員ら協力の「ひよこむ」 被災地の祈り 新手法で



のSNS。県内全域の情報が交換できる上に実名登録と完全招待制で高い信頼性を誇り、まちづくりや地域防犯の話合いに役立っている。「犠牲になった6434人への祈りを、追悼に來れない人とも共有したい」「皆が助け合って命をつないだ震災体験を地域づくりに生かしたい」との声を受け、追慕の念や慰霊行事での思いを交わすコミュニティ「1・17リアルタイムレポート」が真に立ち上がった。

サービスを活用した新しい形の追悼が始まる。地域社会の再生を目指す県職員有志や企業、市民グループなどが協力するSNS「ひよこむ」で、17日前後の追悼行事を参加者がリアルタイムで報告し、インターネット上で震災の教訓を語り継ぐ。ひよこむは昨年10月の開始以来、会員数1400人を突破した急成長中

【林田七恵】

阪神大震災から12年。犠牲者をしのぶ行事が減り体験の継承が課題とされる中、地域SNS(ソーシャルネットワーキング

ことば SNS インターネット上でプロフィールを登録し、日記や写真を公開しながら交流する会員制サービス。日本では昨年9月、東証マザーズに上場した最大手「mixi(ミクシイ)」が有名。一般的に無料招待制で、個人情報公開対象を限定できる。また、趣味や出身地など共通の関心を共有する会員が集まるコミュニティ外での情報交換も広がっている。

ネットでも追悼報告

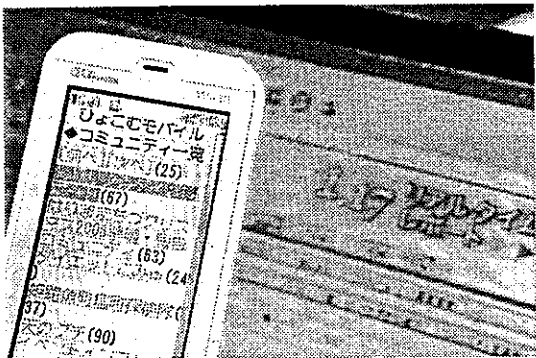
会員サイト、新たな試み

阪神・淡路大震災から十二年。各地で追悼行事や震災関連行事が催されるが、地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した新たな追悼の形がスタートする。地域活動支援を掲げ、市民グループや企業、県職員有志らが協力するSNS「ひよこむ」で、行事に参加する会員が、会場の様子を写真や文章でリアルタイムで報告する。メンバーは「『あの日』を忘れないことも、SNSを災害時の情報共有に役立てたい」と話している。

(広岡磨瑛)

災害時対応も

1・17の情報共有へ



SNSは、インターネット日記や写真などを公開しながら交流を深める会員制サービス。昨年九月に開設された「ひよこむ」は、現在、県内外に約千四百六十人の会員がいる。地域活動やまちづくり、防災など共通の関心を持つテーマごとに分けられる「コミュニティ」で、情報の交換・共有をしている。

震災から十二年を前に「1・17」の震災関連行事に参加するメンバーが会場の様子を中継する

「1・17」の震災関連行事に参加するメンバーが会場の様子を中継する

「1・17」の震災関連行事に参加するメンバーが会場の様子を中継する

「1・17」の震災関連行事に参加するメンバーが会場の様子を中継する

地域活動支援サイト「ひよこむ」

今後の活用法模索

で 路
フォーラム

(第3種郵便物認可)

インターネットで情報公開しながら交流を深めるソーシャル・ネットワーキング・サイト(SNS)の兵庫県版「ひよこむ」について考えるフォーラムが二十三日、姫路市新在家本町、県立大新在家キャンパスで開かれた。開設後の歩みや、地域力の向上に結び付ける活用法などについて意見が交わされた。

「ひよこむ」は、地域活動の支援を目的とし、県民有志が九月に開設。サイトでは会員が興味のある複数の「コミュニティ」に属し、まぎひんなどに関するやりとりを繰り返している。現在、約千三百人の会員がいる。フォーラムには約五十人が参加。開発したインフォシーム(姫路市)社長の和崎宏之が「ひよこむ誕生」と題し講演。「地域のSNSでは身の回りの人脈が可視化でき、話し合いがしやすい」と話した。

「ひよこむ」は、地域活動の支援を目的とし、県民有志が九月に開設。サイトでは会員が興味のある複数の「コミュニティ」に属し、まぎひんなどに関するやりとりを繰り返している。現在、約千三百人の会員がいる。フォーラムには約五十人が参加。開発したインフォシーム(姫路市)社長の和崎宏之が「ひよこむ誕生」と題し講演。「地域のSNSでは身の回りの人脈が可視化でき、話し合いがしやすい」と話した。

話で閲覧できる。主宰する和崎宏之さん(右)は姫路市。地域SNSが災害時に果たす役割に期待を寄せる。「果たしてこの情報を共有し、いざという時に活用できるよう、『1・17』という大切な日に実証したい」と話している。

兵庫県内居住者地域別分布

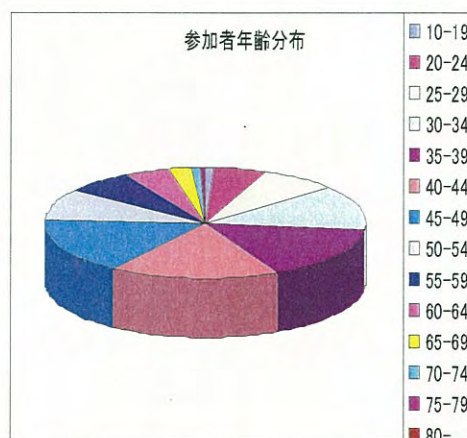
姫路市	394	芦屋市	9	小野市	3
たつの市	68	洲本市	9	神崎郡市川町	3
宍粟市	15	三木市	9	佐用郡佐用町	3
揖保郡太子町	9	加西市	9	朝来市	3
		加古郡播磨町	9	神崎郡神河町	2
神戸市	226	豊岡市	9	多可郡多可町	2
明石市	51	篠山市	8	川辺郡猪名川町	2
加古川市	43	丹波市	8	美方郡新温泉町	1
伊丹市	30	川西市	8	養父市	1
宝塚市	29	加古郡稲美町	7	美方郡香美町	0
西宮市	28	淡路市	7		
三田市	23	南あわじ市	7		
相生市	17	加東市	6		
赤穂市	16	神崎郡福崎町	5		
尼崎市	15	西脇市	4		
高砂市	15	赤穂郡上郡町	4		

2007年1月4日調べ

13

参加者年齢別構成比

年齢	男性		女性		全体	
10-19	2	0.1%	10	0.7%	12	0.9%
20-24	40	2.9%	34	2.4%	74	5.3%
25-29	68	4.5%	45	3.2%	108	7.7%
30-34	116	8.3%	69	4.9%	185	13.3%
35-39	149	10.7%	66	4.7%	215	15.4%
40-44	159	11.4%	82	5.9%	241	17.3%
45-49	163	11.7%	59	4.2%	222	15.9%
50-54	98	7.0%	31	2.2%	129	9.2%
55-59	62	4.4%	31	2.2%	93	6.7%
60-64	51	3.7%	13	0.9%	64	4.6%
65-69	30	2.2%	4	0.3%	34	2.4%
70-74	11	0.8%	1	0.1%	12	0.9%
75-79	5	0.4%	0	0.0%	5	0.4%
80-	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
	950	68.1%	445	31.9%	1395	



14